てんかん

てんかんとはさまざまな原因によって起こる、てんかん発作を特徴とする慢性の脳の病気です。
有病率はおよそ 0.5～1%と言われますが、「てんかん」という言葉は知られていても、誤った情報も多く、一般の方には正確な情報はあまり知られていません。
ご本人やご家族は病気と向き合う以外に「誤った情報」や「偏見」に対して辛い思いをされています。

＊ てんかん発作とは

脳には 150 億個の神経細胞のネットワークがあり、電気信号のリレーが行われています。
脳神経回路のショートによって、コントロールを失った電流の流れが発作症状と言われています。ショートした脳神経回路の場所によって発作症状が違います。

＊ 発症年齢

乳幼児から高齢者まで幅広く起こりますが、3 歳以下での発症が最も多く、80%程度は 18 歳以前に発症すると言われます。最近は脳血管障害などにより高齢者の発症が増えています。

＊ 遺伝について

てんかんは、ほぼ遺伝しないと言われています。
ただし一部のてんかんでは発症や発作の起こりやすさなどで、遺伝との関係が明らかになっています。
そのようなてんかんのほとんどは良性で治癒しやすいと言われています。

＊ 発作の分類

	意識を無くす	意識がある
けいれんがある	大発作 強直発作 複雑部分発作	ミオクロニー発作 単純部分発作
けいれんがない	欠神発作 脱力発作 複雑部分発作	単純部分発作

それぞれの発作によって、発作時の様子や時間、処方薬の種類、対応方法が異なります。

＊ 発作の起こりやすい時間帯

リラックスしているとき	入浴中	入眠時	起床前後
緊張しているときには起こりにくい	リラックスと体温の上昇がポイント	浅い睡眠で起こりやすい	十分目覚めていないとき

発作は睡眠不足、疲労、発熱、飲酒、低血糖、生活環境の変化等や精神的ストレスや興奮のように、精神的要因も発作のきっかけになることがあります。

＊ てんかんの治療

現在は適切な治療によって発作を 70～80%の人がコントロールできるため、多くの人が普通に生活をしています。
しかしおよそ 20%の人に、服薬しても発作のコントロールが難しい難治性てんかんがあると言われます。

抗てんかん薬による薬物療法

最も重要なことは、「てんかん」であることを正確に診断することです。
抗てんかん薬の選択は発作型で決まります。てんかんの患者さんのおよそ 80%が薬によって発作を完全にコントロールできます。飲み忘れ、飲み過ぎには注意が必要です。副作用のうち薬疹が疑われる場合はすぐに受診しましょう。

外科治療

難治性症候性部分てんかんの場合などで行われます。

日本てんかん協会
てんかん相談専門ダイヤル(無料)
☎ 03-3232-3811
平日の月･水･金 12:00～17:00

所沢市ホームページ
てんかん